

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「わしらと一緒にやろや！」

《東予地区老人クラブ連合会》

東予地区老人クラブ連合会は、9校区68単位クラブで構成され、越智会長のもと3,700人余の会員が「健康、友愛、奉仕」をスローガンにクロッケーやグラウンドゴルフ、独居老人等の友愛訪問、小学生との3世代交流や地域の清掃活動などに汗を流しています。また、スポーツ活動やふれあいカラオケ大会などを通して会員相互の親睦を深めています。

さて、今年度より西条市老人クラブ連合会会長も務められ、公私共にお忙しい日々を送られている越智会長にお話を伺いました。

「高齢者人口が年々増加する中、医療・介護・年金などで現役世代の負担が大きくなっています。そこで、老人ク

ラブの活動を通して高齢者一人ひとりが健康づくりや生きがいづくりに取り組むことで若年層の負担を少しでも軽くしていくとともに、世代間交流やボランティア活動などを通じ、明るく住みよい地域づくりのお役に立てればと願っています」

「これからも市内で11,000人余りの会員の皆さんと力を合わせ、高齢者福祉の向上、地域の活性化に努力していきたいと思っておりますので、市民の皆様のご理解・ご支援を頂きますようお願いいたします」と力強く語ってくれました。

60歳以上の方は誰でも加入できますので、お近くの老人クラブ会員まで申し出てください。



越智会長
(写真左)
と老人クラブの活動の様子
(写真下)



丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

紅葉真っ盛りの明河ウォーキング



天龍山明長寺

11月25日、桜樹地区の明河地域で紅葉を楽しみながら自然に親しみ、地域の史跡をめぐるウォーキングが開催されました。桜樹地区は桜三里の入り口で、市の西端に位置し、明河地域は国道11号から鞍瀬川に沿った県道落合久万線を南に入った、南端の集落です。桜樹公民館の呼びかけで、地元の方をはじめ、市内各地から約50名の方が参加されました。当日は晩秋の好天に恵まれ、鞍瀬川沿いの紅葉真っ盛りの中を楽しく歩いて道中の史跡をめぐるしました。旧明河小学校跡に集合し、祓川薬師如来の石造坐像、伝説で馬が農作物を食い荒らすので、これを鎮めるために手綱を書

き加えたという白馬の絵馬がある大野霊神社、朱色が目立つもみじの天龍山明長寺、旧藩時代に郡代官の雨乞い祈願所として雨乞い漕があつた児美谷神社、古い一石五輪塔がある黒川家(明河庄屋)墓地などを散策しました。

地域のすばらしい自然と文化財を見ながらの散策は話題に事欠かず、初対面の人同士でも自然と会話も弾み、すがすがしい笑顔があふれていました。過疎化が進みつつもは静かな地域ですが、この日は久しぶりにたくさんの人が訪れ、明るい声が響き活気に満ちた1日になりました。



参加者の皆さん



児美谷神社

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

「小松の歴史にふれてみませんか」

《小松史談会》

小松町は、小松藩主の一柳家や伊予聖人・近藤篤山などで知られる歴史と文化の根づいたまちです。今回は、その歴史を学び、広く紹介している小松史談会をご紹介します。

小松史談会は昭和24年9月に設立され、来年60周年を迎えます。会員数は約230人で、東京など町外に住む小松にゆかりのある方も入会しています。史跡めぐりや歴史学習会、小松藩主の墓所清掃などを行っていますが、主要な活動に年1回発行の史談誌「小松史談」があり、現在134号まで発行されています。史談会設立時から、会員が考古学、歴史学、民俗学、文芸など地元の郷土資料を発掘・研究し、史談誌に発表することで、先人の軌跡を後世に残してきました。また、この研究成果が、小松町誌や指定文化財認定

にもつながりました。

しかし昨今、小松の歴史と文化を後世に伝える後継者の不足が心配されており、小松の歴史を知ってもらおうと、史談会や小松文化協会などの有志が協力して、平成19年5月から『ふるさと歴史学習会』を月に1回小松公民館で開催しています。

講師は、小松史談会の重松会長等がつとめ、小松藩主を初代から順次1人ずつ取り上げ、藩主と藩主にまつわる人々を紹介しています。この学習会は申込不要ですので、興味のある方は、ぜひ参加して小松の歴史にふれてみてはいかがでしょうか。



史跡めぐり
(明勝寺 大鼓櫓)